

事業番号	04 05 02	事業改善シート (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	地域の交通安全を推進するための事業	部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課	
		実施期間	S45 ~	E-mail	kurashi-shohi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減					

1 事業の概要

事業の現状・ 目指す姿 (予算編成時) 及び実施内容	【現状】
	○令和元年交通事故発生件数 6,281件:平成17年から15年連続減少 ○令和元年交通事故死傷者数 7,624人:昭和42年以降最少 ○令和元年度交通事故相談件数 906件:交通事故被害者等が抱える賠償、示談問題の解決を支援できる唯一の公的相談機関 ○令和元年自転車関係人身事故件数 772件:全人身事故件数の12.3% ○令和元年高齢ドライバーによる交通事故 1,657件:全人身事故の26.4%、平成20年(17.5%)と比べて上昇
	【目指す姿】
	①交通安全関係機関・団体、市町村等と連携し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践による県民の交通安全意識の向上を通じて、交通事故の総量抑制と交通事故死傷者数の減少を図り、交通事故のない安全で安心な県民生活の実現 ②交通事故被害者等が抱える補償問題や生活問題等の解消 ③「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」が基本理念として掲げる「安全・安心な県民生活の確保」と「自転車の利用促進」 ④高齢者の安全運転及び日常生活を支える支援策を講ずることにより、高齢ドライバーに起因する事故を防止
【実施内容】	
①第11次長野県交通安全計画及び令和3年度長野県交通安全実施計画の策定、長野県交通安全運動推進本部・地方部による顕彰・啓発活動等 ②交通事故相談所の運営 ③安全安心な自転車利用推進に向けた啓発活動の実施 ④運転事故防止や移動支援サービス拡充の研修の実施	

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度 目標値	達成 状況
1	交通事故死傷者数(暦年)	人	7,624	5,802	↗	5,741	↗	6,500	達成
2	自転車事故発生件数(暦年)	件	772	628	↗	626	↗	715	達成
3	高齢ドライバー事故による死者数(暦年)	人	24	14	↗	14	→	23	達成
4									
5									

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
	前年度繰越額	0	0
当初予算額	22,118	22,100	22,873
補正予算額	0	-186	0
合計(A)	22,118	21,914	22,873
うち一般財源	22,080	21,656	22,630
決算額(B)	21,146	20,134	19,526
職員数(人)	9.0	10.0	9.0

成果指標 及び目標値 の設定理由	1.交通安全対策全般の施策の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、R1年比で向上することを目標とした。 2.安全安心な自転車利用の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、R1年比で向上することを目標とした。 3.高齢ドライバーへの事故防止対策の成果を図る上で継続的に把握可能な数値であり、R1年比で向上することを目標とした。
達成状況 の分析	1.交通事故による死傷者数は、令和2年に比べて更に減少し、目標値を達成した。 2.「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」(平成31年3月制定・施行(自転車損害賠償保険等加入義務の規定は令和元年10月施行))に基づく安全安心な自転車利用推進に係る取組が浸透し、自転車の交通安全に寄与したと認識している。 3.増加する高齢ドライバー(高齢免許保有者)に対する免許返納後の支援及び移動支援サービスの拡充・構築等の取組が、全体の交通事故の減少にも寄与したと認識している。

主な取組	<p>✓ 交通安全啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季別(年4回)の交通安全運動に合わせた(街頭)啓発活動の実施(関係機関・団体等を通じての発信活動、反射材の作成・配布等) 	 <p>自転車ルールブック</p>
	<p>✓ 安全安心な自転車の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「長野県自転車の安全で快適な利用に関する条例」の周知、安全利用に関する啓発(自転車ルールブックの作成・配布及びチラシの配布等) ・自転車損害賠償保険等への加入促進(保険会社等との連携による情報発信など)を実施 ・高齢者の自転車利用者へヘルメット着用を促す「ヘルメットモニター事業」を展開 	
	<p>✓ 高齢ドライバー運転事故防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村交通指導員等を対象とした高齢者ドライバー向け交通安全講習指導者養成研修のオンデマンド配信及びDVD作成を実施 ・長野県住民相互の助け合いによる輸送サービス研修会を通じて市町村の移動サービスの拡充の支援及び住民相互の助け合いによる輸送サービス構築の現地調査事例をホームページに掲載し周知 	

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
<p>今後、事業をどのようにしていきたいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故死者数に占める高齢者の割合は6割であり、高齢者を対象とした啓発活動を重点的に取り組む必要がある。 ・自転車利用中の事故件数は年々減少傾向にあり、令和3年の死者は5人(前年比-4人)に減少。高齢者の事故割合が高いほか、年代別の事故発生が最も多い高校生をはじめ全世代のヘルメット着用促進が新たな課題。 ・地域での移動手段の確保及び充実を通じて、高齢ドライバーが運転免許証を返納しても暮らしやすい社会づくりを構築する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関等と連携しながら啓発活動を行い、交通安全意識の醸成と定着を図る。 ・自転車対策は、高齢者以外に自転車の利用頻度が高い子供世代に対する安全教育・啓発を推進するほか、関係団体等と連携し、第2次長野県自転車活用推進計画(仮)を策定し、安全で快適な利用を図る。また、自転車条例に基づいた自転車損害賠償保険加入とヘルメット着用を促進する。 ・高齢運転者対策は、交通安全指導員等が身体機能等低下に対する「気づき」を促す安全教育を推進するとともに、高齢者や運転免許証返納者の移動支援等について県内市町村と共有し、情報提供等支援を図る一方、安全に運転を継続できるよう出前講座による直接的な安全教育を推進する。

事業名	地域の交通安全を推進するための事業	部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課
-----	-------------------	----	-------	-----	-------------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	交通安全運動推進事業	2,033 千円	2,804 千円	3,906 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	交通安全対策会議による交通安全計画及び交通安全実施計画の策定	直接	交通安全対策基本法に基づき義務付けられている都道府県交通安全計画(5か年計画)及び交通安全実施計画(単年度計画)について、同法に基づき設置の左記会議の開催・審議を経て策定	
2	長野県交通安全運動推進本部顕彰	直接	長野県交通安全推進本部(本部長:知事)において、交通安全の推進に功労のあった個人・団体・市町村に顕彰を実施	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	交通安全啓発活動事業	2,184 千円	1,289 千円	1,293 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	交通安全運動	直接	県・市町村・県警察本部・教育委員会及び交通安全関係団体による季別の交通安全運動期間における啓発活動の実施(要綱策定、ラジオCM放送など)	
2	交通安全運動推進地方部(地域振興局単位)が行う重点啓発	直接	地方部(地域振興局)ごとに地域の状況等に応じて重点的に取り組むテーマ(例:飲酒運転撲滅)を定め、これに基づいて交通安全啓発を実施	
3	長野県ダンプカー協会に対する補助金交付	補助金	協会が実施する交通安全対策事業(事業者や運転者への研修会や過積載防止パトロール等)への補助(補助対象経費の1/2以内)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	交通事故相談所運営事業	12,970 千円	11,972 千円	13,325 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	県内3箇所(常設相談所の運営、巡回相談の実施)	直接	交通事故相談員による交通事故被害者等が抱える損害賠償、示談等に対する相談、助言等の実施(巡回相談は県内7か所で42回実施)	

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	安全安心な自転車利用推進事業	3,959 千円	3,565 千円	569 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)	
1	年代別の事故状況に合わせた安全教育・啓発の実施	直接	<ul style="list-style-type: none"> ヘルメット着用チラシの配布及び高齢者を対象にしたヘルメットモニター事業により着用定着化を図った(交通事故ゼロチャレンジ実行委員会事業)。 自転車安全教育が手薄の幼少期を対象に、基本的な交通ルール・マナーの実践を視聴覚に訴求するための交通安全絵本の配布 県内小学校1年生を対象に自転車安全ルールブックの配布及び令和4年4月に入学する新1年生を対象に作成・配布 	
2	自転車損害賠償保険等への加入促進	直接	<ul style="list-style-type: none"> 自転車損害賠償保険の加入を促すため、県内の加入状況や高額賠償事例を掲載したチラシの配布 保険会社等と連携による県HP等からの情報発信 	

事業番号	04 05 02	細事業一覧（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	地域の交通安全を推進するための事業		部局	県民文化部	課・室	くらし安全・消費生活課

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	高齢ドライバー運転事故防止対策関連事業	0 千円	503 千円	433 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	高齢者の安全運転を支える対策	直接	(一社)日本自動車工業会の「いきいき運転講座」を活用し、市町村交通指導員等を対象とした高齢ドライバー向け交通安全講習指導者養成研修のオンデマンド配信及びDVD作成の実施
2	高齢者の移動を伴う日常生活を支える取組	直接	長野県住民相互の助け合いによる輸送サービス研修会を開催し、市町村の輸送サービスの構築及び拡充を支援するとともに、住民相互の助け合いによる輸送サービスの現地調査を行った4町村の事例をホームページに掲載し周知を図った。